

# 第6章 まちづくりの実現化方策

## 6-1 実現に向けての基本的考え方

これからのまちづくりは、市民の方々や事業者が地域の居住環境や生活環境をよりよいものとするため、お互いに協力し進めていくものです。

### (1) 市民・事業者・行政の相互協力によるまちづくりの推進

まちづくりとは、そこに住む人々が「自分たちの生活の場」という意識と自覚に基づき、居住環境や生活環境の向上に向けて、市民・事業者と行政が相互協力のもとに行っていくものです。

そのため、今後は、適切な役割分担のもと、市民・事業者との協働を基本とした取り組みを進めていきます。

また、行政としては、まちづくりに関するPR活動や情報提供を積極的に進め、まちづくりに対する意識の喚起を促します。

そのほか、関係機関との連携の強化を図り、まちづくりの事業展開に必要な事業への理解と協力を、関係機関に要請していきます。

### (2) 事業化のための財源の確保

マスタープランは、まちづくり施策の方向性を示すものであることから、その具体化に当たっては、より詳細な計画づくりとその実現に当たっての事業化を検討していく必要があります。しかし、現在の経済・社会情勢のなかで、市の厳しい財政事情を踏まえると、全ての事業を理想的に進めることは不可能です。事業の推進には財源の確保が最も重要であることから、安定的な財源の確保に努めます。また、国・東京都の事業制度や補助金・交付金制度の積極的な活用を図るとともに、財政事情を踏まえた優先順位を設定して取り組みます。

さらに、必要に応じて新たな制度化のための協力要請について国や東京都への働きかけを行うほか、行政だけでは事業を主体的に実施することが困難な場合もあるため、まちづくりへの民間活力の活用を進めます。

### (3) 適正な指導・誘導によるまちづくりの推進

マスタープランに掲げる将来像の実現に当たっては、まちづくりに関するさまざまな規制・誘導・支援のもとに、総合的なまちづくりを進める観点から相互の連絡・調整を図り、より有効なまちづくりを進めていきます。

特に、大規模開発や建替えなどに対しては、防災への配慮、緑化や空地の確保など、福生市のまちづくり方針に適合するよう、指導・誘導を図っていきます。

### (4) まちづくりの進捗状況に対する検証

マスタープランに基づいて進められる計画や事業がどのように進捗しているのかについて、成果指標として掲げた項目について目標値への達成度合いを確認し、まちづくりの進捗状況を